

チャノキイロアザミウマ情報第2号

平成27年6月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 発生状況

黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫の誘殺数は、東浦町、南知多町、豊橋市、蒲郡市で、平年並からやや多くなっています（図）。発生時期が平年よりやや早くなっているものと考えられます。

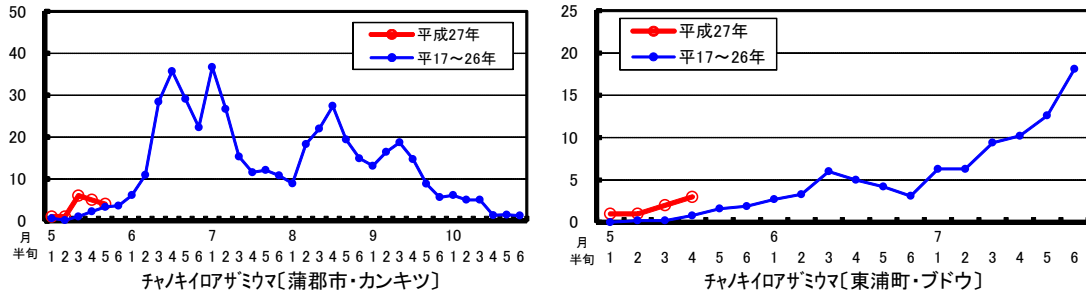


図 黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫誘殺状況

5月下旬に行ったほ場周囲における本種の生息数調査（カンキツ23ほ場及びブドウ13ほ場のイヌマキ（防風垣）10新梢の払い落とし虫数）の結果、カンキツでは8.2頭（平年4.9頭、前年7.2頭）、ブドウでは1.9頭（平年2.1頭、前年1.2頭）で、カンキツはやや多く、ブドウは平年並の発生量でした。

2 発生ピーク予測と防除

成虫の発生ピーク時が防除適期です。稲武を除いた地域における第2世代成虫の発生ピーク予測日は、前年より2日から5日早い6月9日から17日です（表1）。発生の多いほ場では、表2を参考に防除しましょう。

表1 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

	愛西	南知多	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	伊良湖	新城	稲武
第1世代	5/19	5/19	5/15	5/17	5/19	5/17	5/19	5/18	5/21	6/5
第2世代	6/14	6/16	6/9	6/13	6/15	6/13	6/14	6/15	6/17	7/6
（前年）	6/17	6/18	6/13	6/17	6/19	6/17	6/19	6/18	6/22	6/12 [※]
前年差	3日早	2日早	4日早	4日早	4日早	4日早	5日早	3日早	5日早	7日早 [※]
第3世代	7/6	7/9	7/2	7/6	7/7	7/5	7/7	7/7	7/8	7/29

各地のアメダス平均気温から予測。※稲武については、第1世代の前年ピーク日との前年差。5月31日までは実測値を、それ以降は平年値（豊橋のみ前年値）を用いて計算。前年の第2世代は、前年気温の実測値を用いて計算。

表2 チャノキイロアザミウマの主な防除薬剤

作物	薬剤名
ブドウ	アドマイヤー顆粒水和剤
	コテツフロアブル
	コルト顆粒水和剤
	ディアナWDG
	ハチハチフロアブル
カキ	コテツフロアブル
	コルト顆粒水和剤
	ダントツ水溶剤
	パダンSG水溶剤
カンキツ	アドマイヤー顆粒水和剤
	ディアナWDG
	ハチハチフロアブル

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。